

能代市長 齊藤 滋宣 殿

能代市環境マネジメントシステム監査委員会

主任監査委員 江崎 美枝子

副主任監査委員 高橋 鈴子

## 独自目標監査報告書

LAS-E 独自目標の監査結果について、以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査日

平成 21 年 8 月 31 日(月)

### 2. 監査対象

能代市役所

### 3. LAS-E 監査内容

#### 【独自目標（平成 20 年度実績）監査】

- |                    |          |      |
|--------------------|----------|------|
| ① エコアクション(環境活動)部門  | 第 1 ステージ | A110 |
| ② エコマネジメント(環境経営)部門 | 第 1 ステージ | B110 |
| ③ エコガバナンス(環境自治)部門  | 第 1 ステージ | C107 |
| ④ その他              |          |      |

### 4. 監査結果

部門	項目	目標数値	基準年	達成状況	部門評価
①	温室効果ガス排出量の削減	3%以上	平成 18 年度	○	○
	公用車燃料使用量及び走行距離の削減（ガソリン）	現状維持	平成 18 年度	○×	
	灯油使用量の削減	8.5%以上	平成 18 年度	○	
	公用車燃料使用量及び走行距離の削減（軽油）	3%以上	平成 18 年度	××	
	重油使用量の削減	6%以上	平成 18 年度	○	
	液化石油ガス（LPG）使用量の削減	1.5%以上	平成 18 年度	○	
	都市ガス使用量の削減	5.5%以上	平成 18 年度	○	
	電気使用量の削減	2%以上	平成 18 年度	○	
	水道使用量の削減	3.5%以上	平成 18 年度	○	
	事務用紙使用量の削減	10%以上	平成 18 年度	×	
	燃えるごみ・燃えないごみ排出量の削減	9%以上	平成 19 年度	○×	
リサイクル率の向上（廃棄物全体に占める資源ごみの割合）	80%以上	—	×		
②	環境に関する職員研修の開催	年 1 回以上	—	○	○
③	環境に関する情報公開・提供	年 12 回以上	—	○	○
④	環境創造資源活用事業の推進	—	—	○	○
	環境自治体会議への参加や自然環境保全に向けた周辺自治体との連携	—	—	○	○

※ 達成状況：○＝達成、×＝未達成

※ 評価：○＝良好、△＝軽微だが改善すべき点あり、×＝勧告に値すべき点あり

## 5. 所見

平成 20 年度の独自目標について監査した結果、エコアクション部門、エコマネジメント部門、エコガバナンス部門、その他の項目すべてについて○と評価しました。

エコアクション部門について個々の達成状況をみると、12 項目（内訳では 15 項目）のうち、5 項目（内訳では 6 項目）について目標を達成していませんでした。ガソリン車の走行量は前年度より増加したものの、ガソリン使用量は減少しており、これは燃費の良い軽自動車を多く利用したことが寄与していると考えられます。軽油の使用量と走行距離の増加は、小学校の統廃合でスクールバスを 2 台導入したことが原因と考えられ、やむを得ないものと判断しました。事務用紙使用量については、目標に無理があるのではないかという意見がある一方で、まだ無駄があるのではないかという指摘もありました。目標は達成していませんが、基準年及び前年度より減少していました。リサイクル率については、個人で購入・処理し事務局が把握できないものを目標値に含めていることに問題があると思われます。職員への呼びかけも合わせてご検討ください。これらの状況から、やや課題があるものの、部門評価を○としています。

環境に関する情報公開・提供については、広報のしるへの記事掲載、ホームページ更新が目標以上に実施されていました。今後は、ホームページの該当頁を何人の人が見たか、アクセス数を確認することも検討されてはいかがでしょうか。

環境創造資源活用事業の推進については、市内の事業者も注目していたものですが、製品販売までに至らず事業終了となったことは残念です。

なお、小学校の統廃合によってスクールバスを増やしたことにより、軽油の使用量・走行量が増加したとされていますが、一方で、廃校になった分の電気・ガス・水道などの使用量は除外されていたこと、統合した学校でのエネルギー使用量があまり増加していないことを事務局から聴きました。廃校によって減少した分を合わせると、トータルでの温室効果ガス排出量に影響してくると思われます。学校の統廃合は省エネ目的で実施されるものではありませんが、能代市として把握しておくことは意味があると思います。実績値があるということでしたので、記録を残しておかれるようにお願いします。

以上のように、全体として概ね良好に取り組まれています。この結果とともに数値の持つ意義を職員の皆さんへ周知され、市民・事業者の範となるべく、業務効率が低下しない範囲で、今後も引き続き積極的に取り組まれることを期待します。